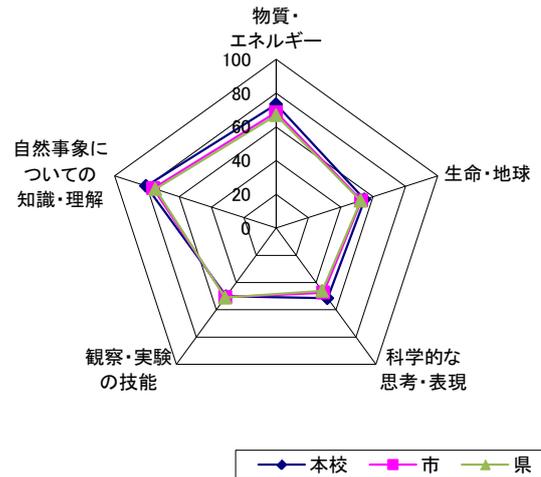


# 宇都宮市立海道小学校 第4学年【理科】分類・区分別正答率

## ★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	物質・エネルギー	73.4	68.6	66.9
	生命・地球	54.7	52.8	52.4
観点	科学的な思考・表現	51.5	47.4	46.2
	観察・実験の技能	50.0	50.8	51.1
	自然事象についての知識・理解	80.5	76.1	74.8



## ★指導の工夫と改善

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の改善
物質・エネルギー	<p>平均正答率は県と比べて6.5ポイント高い。</p> <p>○輪ゴムを伸ばす長さや車の走る距離の関係が分かること、実験結果から必要なゴムの長さを推測すること、反射させた光を重ねた時の明るさの違いが分かること、磁石を使ったおもちゃを回り続けさせる方法が分かること、ものづくりで利用している磁石の性質が分かること、回路を作る際の導線の安全なつなぎ方が分かることができています。学習プリントやフォローアップシートを使って反復練習を行ってきた成果であると考えられる。</p> <p>●物は形が変わっても重さは変わらないこと、ゴムの伸びと風の強さと車が走る距離の関係、複数枚の鏡で日光を反射させて水を温める方法、豆電球のつき方から回路の様子を推測することに課題が見られる。</p>	<p>○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの</p> <p>今後授業や家庭学習で学習プリントやフォローアップシートを行うことで物質やエネルギーへの理解が図れるようにする。</p> <p>・物は形が変わっても重さは変わらないことやゴムの伸びと風の強さと車が走る距離の関係については、再度実験を行い、正しい結果を出すことで理解できるようにする。</p> <p>・複数枚の鏡で水を温める方法については、温める方法を児童に考えさせ、検証させることで正しく理解できるようにする。豆電球のつき方から回路の様子を推測することについては、電流の流れに着目して考えることで正しく推測できるようにする。</p>
生命・地球	<p>平均正答率は県とほぼ同じである。</p> <p>○昆虫の育ち方には一定の順序があること、観察記録をもとに昆虫を選択し、選んだ理由を説明すること、昆虫の成虫が食べ物がいない場所にいる理由を説明することがよくできている。生活科で行ったことや総合的な学習の時間で行った内容と関連させて学習を進めた成果であると考えられる。</p> <p>●方位磁針と温度計の適切な操作方法に課題が見られる。</p>	<p>今後学校の周りがある自然を活用して昆虫や植物の飼育や観察を行い、理解が図れるようにする。</p> <p>・方位磁針と温度計の適切な操作方法については、児童一人一人に方位磁針と温度計を持たせ、実際に正しい方法で操作することで理解できるようにする。</p>